

公園内で見られる植物

写真は12月15日（日）
自然観察会で見られた
植物です



ヤブコウジ（ヤブコウジ科）

常緑の木本植物で、冬に赤い実をつけ正月飾りなどに使われます。千両や万両に対して、十両とよばれています。



フユイチゴ (バラ科)

冬に果実が熟するのでユフイチゴ。



ヒサカキ (ツバキ科)

出雲地方ではシブキとも言い、シキミの代用品として仏事に使われる。



トウネズミモチ（モクセイ科）

乾燥した果実を漢方では女貞と呼び、強壮薬として使う。



クヌギ（ブナ科）

ブナ科の落葉樹は、春まで枯れ葉が残っていることがある。



ヤマボウシ（ミズキ科）

老木になると、樹皮が不規則に剥がれ、まだら模様になる。



ビワ（バラ科）

花は冬に咲き、いい匂いがする。葉や種は民間薬として使われる。